

春夏秋冬

すでに2024年10月からは長期収載医薬品について患者の負担を一部増額する制度変更がなされた。そもそも安心して受けられる医療や医薬品は保険で誰もが享受できるようにすべきであり、長期収載医薬品は、公的医療保険の理念に裏付けら

るが、国民・患者の立場から見ればさらなる負担を強いるものであり、到底容認できない。

高額の療養費制度における負担上限の引き上げは、患者に大きな負担をもたらす。患者団体や私たちの粘り強い運動が世論を動かし、2025

年8月からの実施を食い止めた。

健康保険証をめぐる問題では、昨年12月2日に従来の健康保険証が廃止され、マイナ保険証への一本化が

万博中止声明を確認

メタンガス、屋根少ない安全性懸念

協会は12日、第1回理事會を開き、万博開催を受けて次々と露呈する問題点、歯科衛生士による浸潤麻酔行為、社会保障制度を守る運動などについて協議した。

大阪・関西万博について、安全性・経済的合理性・開催の意義そのもの

根が非常に少ない。夏の

自公維3党による「医療費4兆円削減」を掲げた協議体の議論が開始した。会合ではOTC類似薬(市販薬と成分が類似する処方薬)の保険適用除外が真っ先に打ち出されている。政府内でも、これを医療費抑制策の一つとして議論が進められているが、国民・患者の立場から見ればさらなる負担を強いるものであり、到底容認できない。

物価高騰が続く中、実質賃金は上からず、多くの国民が生活の困難を抱えている。まず議論されるべきは生活と健康を支える方策であり、医療費負担の増加ではない。政府は「手取りを増やす」と言いながら、医療を標的とするような施策を進めて、命と健康を後回しにしているのが現状である。

2024年秋の衆議院総選挙を経て、国会内の勢力構成に変化が生まれ、政策に国民の声が反映されやすくなりつつある。7月には参議院選挙が予定されており、保険で良い歯科医療を求め、むしろ患者負担を軽減せよとの声を、さらに大きなうねりへと広げていく好機である。誰もが安心して医療を受けられる社会をめざし、窓口負担の軽減と、保険証1枚で受診できる「受療権」を守り抜いていく正念場だといえる。

第1回理事會報告

メタンガス、屋根少ない安全性懸念

協会は12日、第1回理事會を開き、万博開催を受けて次々と露呈する問題点、歯科衛生士による浸潤麻酔行為、社会保障制度を守る運動などについて協議した。

大阪・関西万博について、安全性・経済的合理性・開催の意義そのもの

根が非常に少ない。夏の

国民・患者の立場で議論を

―保険外だけでなく、負担軽減はかれ

年8月からの実施を食い止めた。

健康保険証をめぐる問題では、昨年12月2日に従来の健康保険証が廃止され、マイナ保険証への一本化が

万博中止声明を確認

メタンガス、屋根少ない安全性懸念

協会は12日、第1回理事會を開き、万博開催を受けて次々と露呈する問題点、歯科衛生士による浸潤麻酔行為、社会保障制度を守る運動などについて協議した。

大阪・関西万博について、安全性・経済的合理性・開催の意義そのもの

根が非常に少ない。夏の

3月度生涯研修 認知症患者に対する食事支援

「邪魔な情報」を見つけ対処する



講演する枝広氏＝3月30日、M&Dホール

臨床学術部は3月30日、「認知症の人を食べるに導く食事支援を考える」をテーマに生涯研修講座をM&Dホールで開いた。枝広あや子氏(東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム、歯科医師・専門副部長)を講師に24人が参加した。

まず認知症の症状や口腔の特徴について解説した。自身で歯周病を管理するのに必要な機能は、認知機能が低下すると

良い機会になる。環境づくりについては配膳の仕方、食器の種類や色を工夫するが、その際は情報過多にならないようシンブルにすることがポイントである。また、義歯使

用困難は認知症の中等度から重度で急激に増加する傾向にある。義歯破損が放置されると低栄養になってしまったため、歯科の介入が必要になる。最後に同氏は「本人が

最後の望みを全うでき、辛い支援が大切である。歯科は口や食の面から貢献できる役割を果たしていると考えている」と考えを述べられた。

泉州地区総会

お薬手帳をテーマに記念講演

泉州地区は5日、地区総会と記念講演を開催し、30人が参加した。

総会では、戸井逸美副理事長が開会挨拶を、議案提案を山下武弘評議員が務めた。24年度は、医療事故や口腔外科領域で講演会を開催したことを報告。新年度方針として

は、来年の診療報酬改定をアラスにすることも保険でより良い歯科を求める署名の取り組みを強化していくことを確認した。

記念講演は「開業医が知っておきたいお薬の話 ―お薬手帳を上手に読み解く―」をテーマに、首

藤敦史氏(岸和田徳洲会病院歯科口腔外科部長・院長補佐)が講師を務めた。首藤氏はお薬手帳を確認する際、患者の来院時の状態や診察時の聞き取り、問診票とも照らし合わせて原疾患や服薬情報を入手していくことの重要性を説明した。

首藤氏は、リスク薬を効率よく把握するためのコツとして、本来は災害時などで治療の優先順位を決めるためのトリアー

コツとして、本来は災害時などで治療の優先順位を決めるためのトリアー

かがやけ憲法!

メインスピーチ
被爆80年
核のタブーの原点に立ち返る

平和といのちと人権を

2025 5・3おおさか総がかり集会

5.3 (土・憲法記念日) 扇町公園

13:40 オープニング 和太鼓演奏

14:00 開会

メインスピーチ・市民スピーチ・政党紹介

15:00 市民パレード

◆中崎町コース ◆裁判所前コース

主催 おおさか総がかり行動実行委員会
連絡先 大阪憲法会議・共同センター (06-6352-2923)



長崎大学核兵器廃絶研究センターRECNNA准教授
中村 桂子さん

大阪府歯科保険医協会の労働保険事務組合サービス

労働保険

労災 + 雇用

事務代行サービスのご案内

お役立ち①

事務の手間を削減

- 雇用保険の取得・喪失の際にハローワークへの届け出を代行
- 毎年の労働保険料の計算・申告・納付手続を代行

お役立ち②

特別加入制度

- 事業主や家族従業員も労災保険に特別に加入できます

お役立ち③

保険料を分割納付

- 保険料の額に関係なく年3回の分納が可能に

年間手数料

1万2千円～

時間も費用も
節約できる



まずはお気軽にお問い合わせください。大阪府歯科保険医協会・共済部 ☎06-6568-7731